新春すごろく 冬晴れは野鳥観察日和

チュウヒ

写真提供：響灘ビオトープ

両翼をV字型に保つ滑翔と羽ばたきを繰り返し、獲物を探す。多くは冬鳥。

オオジュリン

頬に白い線、羽は赤褐色。冬に「チュリーン」と鳴くのが名前の由来。冬鳥。

ツリスガラ

灰色の頭、目のところに黒い線。スズメよりも小さい。冬鳥。

㉕響灘ビオトープ（若松区響町一丁目）

生物多様性に配慮しながら自然と触れ合える自然環境学習拠点。響灘ビオトープに生息する生き物（野鳥、昆虫、植物など）の紹介や自然環境学習の拠点となる「ネイチャーセンター」のほか、野鳥観察施設もあります。また、ここは絶滅危惧種「チュウヒ」の国内南限の繁殖地となっています。

「シラサギ」とよく言いますが、その名の鳥はいません。身近な鳥としては以下の鳥であるケースが多いようです。

アオサギ

日本のサギ類で最も大きい。全体に灰色っぽい。留鳥。

コサギ

黒いくちばし。黒い足。黄色い足指。留鳥。

ダイサギ

長い首。黒い足。夏は黒。冬は黄色いくちばし。留鳥。

⑰風師山（門司区大字小森江ほか）

関門海峡をはじめ、周防灘や玄界灘まで見渡せる風師山。門司区を代表するこの風師山は5月と9月、タカの渡りのコースとなっています。

「渡り鳥」と「留鳥」　渡り鳥は主に2種類。「夏鳥」は春に南方の越冬地から渡来して繁殖し、秋に戻ります。「冬鳥」は秋に北方の繁殖地から渡来して、春に戻ります。「留鳥（りゅうちょう）」は1年中、同じ地域で見られる鳥です。

⑭部埼灯台（門司区大字白野江）

関門海峡の東側に立つ「部埼灯台」は明治5年（1872年）に初点灯。現存する灯台としては九州最古です。留鳥の多いヒヨドリですが、九州以南で越冬し、春に北の繁殖地に戻る冬鳥もいて、4月下旬にはそうしたヒヨドリが関門海峡を本州方面に飛んでいきます。なお、部埼灯台は1月18日まで工事のため立ち入り禁止です。

ハチクマ

ワシ・タカの仲間。尾羽の先が丸い。夏鳥。

ヒヨドリの集団

ヒヨドリを捕らえたハヤブサ

㉙響灘緑地（若松区大字竹並）

響灘緑地は頓田貯水池を中心に山林、原野、海浜など変化に富んだ自然景観が広がる市内最大の公園です。大芝生広場、熱帯生態園、ひびき動物ワールド、バラ園、サイクリングコースなどがあります。貯水池やその周辺では季節ごとにさまざまな野鳥が観察できます。

首が長く、体の背面が黒で腹が白。冬鳥。

カンムリカイツブリ

キンクロハジロ

黒い体と白い脇腹。後ろに垂れる冠羽。冬鳥。

㊲中央公園（戸畑区金比羅町ほか）

カルガモ

褐色の体に黒褐色の斑。くちばしは黒く先端が黄色。留鳥。

㉜瀬板の森公園（八幡西区瀬板二丁目ほか）

瀬板貯水池と周辺の良好な自然環境を生かした自然体験型の公園です。延長約4.4kmの遊歩道があり、散策や森林浴、四季折々の草花・野鳥の観察ができます。

㉟皿倉山（八幡東区大字尾倉ほか）

皿倉山は本市のシンボル的存在。山頂からの夜景は「新日本三大夜景」に選ばれています。昼間には別の魅力があり、野鳥の宝庫でもあります。写真は皿倉八景の一つ「ネムの木の展望台」。

アオゲラ

キツツキ科。腹に黒色横斑。赤い頭頂。留鳥。

カワセミ

緑色の翼、青い背。だいだい色の胸と腹。留鳥。

シロハラ

茶褐色の体。名前のとおり、腹が白っぽい。冬鳥。

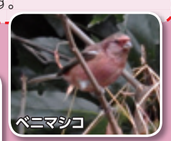
ゴール　山田緑地（小倉北区山田町）

山田緑地は、森の自然に触れることができる「利用区域」と自然環境の保護を優先する「保護区域」、「保全区域」の3エリアに分けて管理されています。利用区域には、大芝生広場、森の家（日本最大級のログハウス）、野草広場、自然観察路、山頂展望台などがあります。

写真提供：山田緑地

ルリビタキ

瑠璃色の背面。だいだい色の脇。冬鳥。


ベニマシコ

長い尾羽。翼に2本の白帯。紅色の体。冬鳥。

ミヤマホオジロ

大きい冠羽。目元は黒く、眉と喉が黄色。冬鳥。

③昭和池公園（小倉南区大字朽網）

外周2.5km・面積11.6haの昭和池は「昭和池の千本桜」で親しまれているソメイヨシノが有名です。ここではオシドリのほか、春には夏鳥のキビタキやオオルリなどが見られます。なお、周回道路の一部は現在全面通行止めです。

オシドリのつがい。美しい色彩の鳥がオス（手前）。冬鳥。

オシドリ

ズグロカモメ

くちばしは黒く短く、脚は暗褐色。冬鳥。絶滅危惧種。

ツクシガモ

白い体に黒緑色の頭と赤いくちばしが特徴。冬鳥。絶滅危惧種。

クロツラヘラサギ

名前のとおり、ヘラ状のくちばしが特徴。冬鳥。絶滅危惧種。

ダイシャクシギ

下に曲がった長いくちばしが特徴。冬鳥。

⑧足立山森林公園周辺（小倉北区大字足原）

小倉北区の東部に位置し、遊歩道を散策して森林浴を楽しむことができます。また、北側の「企救自然歩道」を利用して小文字山や足立山に登れます。トラツグミ、モズ、シロハラ、ミソサザイ、クロジ、ビンズイなどさまざまな野鳥も見ることができます。

トラツグミ

黄褐色の体と三日月状の黒い斑紋が特徴。冬鳥。

ガイドが説明してくれる「野鳥観察会」に行ってみよう！

双眼鏡を持っている人は持ってきてね

グリーンパーク「親子で野鳥観察」

1月5日㈯9時30分～11時。定15人。料入園料が必要。申電話で1月4日までにグリーンパーク（若松区大字竹並、☎741・5545）へ。

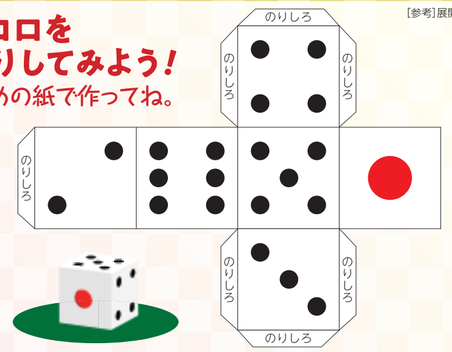
山田緑地「バードウオッチング」

毎月第2日曜日の9時30分～12時。小雨決行。双眼鏡の貸し出しあり。対小学生以下は保護者同伴。料駐車場は有料。問山田緑地（小倉北区山田町、☎582・4870）へ。

響灘ビオトープ「野鳥観察月例会」

毎月第2日曜日の9～11時。小雨決行。双眼鏡の貸し出しあり。対小学生以下は保護者同伴。料入園料が必要。問響灘ビオトープ（若松区響町一丁目、☎751・2023）へ。

サイコロを手作りしてみよう！

少し厚めの紙で作ってね。

［参考］展開図